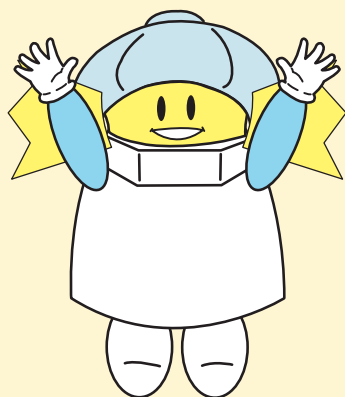


めいすいきょう 「明推協」をご存知ですか？



横浜市 選挙マスコット
イコット Jr.

正式名称は「明るい選挙推進協議会」と言います。不正のないきれいな選挙と投票総参加をめざして活動している団体で、全国の都道府県、市町村に設置されています。横浜市には、市および各区に明るい選挙推進協議会があります。

都筑区では、推進委員として25名、推進員として349名が活動しています。具体的な取り組みは、15の地区協議会において、夏祭りや運動会といったイベント時の啓発や、勉強会の開催など、各地区独自のアイデアによって選挙啓発に取り組んでいます。また、都筑区選挙管理委員会が行う小学校の模擬選挙に協力し、未来の有権者への啓発にも取り組んでいます。地域に密着した啓発活動や、若年層向けの啓発活動を展開することで、着実な成果を上げていきます。

都筑区明るい選挙推進協議会 久保勝治会長 挨拶

都筑区には市内で最も多い人数の推進委員・推進員がおり、それぞれが住む地域で啓発活動を行っています。インターネットやマスメディアが発達し、すぐに情報が取れる世の中でありながら、選挙の投票率は決して高くありません。投票へ行かない方が「投票へ行こうかな」と思うきっかけが大事で、それが我々の啓発活動の役目だと思っています。

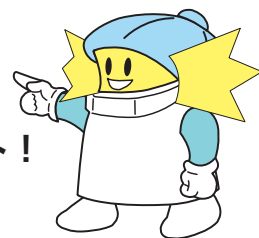
ここ数年はコロナ禍によりほとんどのイベントや街頭啓発が中止となりました。新型コロナウイルスが落ち着き、また色々な場面で顔を合わせて、直接皆さんに思いを伝え、自分たちの活動によって、一人でも多くの有権者が「投票へいこうかな」と思うようになる日が来ることを願います。

都筑区にはたくさんのお子もたちがいます。これから有権者になる子どもたちに、選挙を身近に感じてもらえるよう、出前授業などの活動も都筑区選挙管理委員会と一緒にしています。出前授業を経験した子どもたちが、数年後の有権者となり、自然と投票へ行く日を夢見ています。

このたび、都筑区明るい選挙推進協議会の活動を知っていただくため、通信を発行することとしました。この通信が、都筑区明るい選挙推進協議会の活動を知り、投票へ行くひとつのきっかけとなれば幸いです。



令和4年は参議院議員通常選挙が執行されるよ！ みんなも投票へイコット！



都筑区明推協の活動（令和3年度）

明るい選挙推進協議会会議

令和2年度の事業実績・決算の報告、令和3年度の事業計画・予算案について審議を行いました。



未来の有権者育成事業

選挙器材貸出し

将来の有権者である児童・生徒の、選挙への関心を高めるため、区内小・中及び高等学校へ生徒会選挙等への選挙器材貸出しを実施しました。

せんきょフォーラム

都筑区内の小学6年生を対象に、選挙に関する授業と模擬選挙（投開票）を実施しました。実際の選挙と同じ器材を用い、候補者演説や投票・開票の事務を通じて、本物に近い選挙を体験してもらいました。



模擬選挙の前に、選挙や投票の方法について学びました



記載台で1人ずつ、投票用紙に記載しました



開票作業の様子です

各地区協議会 選挙啓発活動

各地区協議会が企画し、地域に密着した啓発活動に取り組みました。せんきょフォーラムへの協力や地域行事での啓発物品の配布など、各地区協議会の工夫を凝らした啓発が実施されました。

また、令和3年8月22日執行の横浜市長選挙、令和3年10月31日執行の衆議院議員総選挙では、期日前投票所の投票立会人として、推進委員・推進員が従事しました。



せんきょフォーラムにて、投票管理者・立会人として協力
左：池辺地区 右：川和地区



ウォーキングイベントにて、荏田南地区の方々に啓発ポケットティッシュの配布をしました

新型コロナウイルスの影響で、例年のような各地区協議会での活動等が難しい状況でしたが、感染症対策に取り組みながら、啓発事業を実施しました。

今後も感染状況を踏まえつつ、選挙への関心が高まるような啓発活動を実施していきます。